

# 計画の基本的な考え方

## 1 基本理念

全ての高齢者が個人の尊厳を保ちながら、できる限り住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしく暮らし続けられる地域社会の実現をめざします。

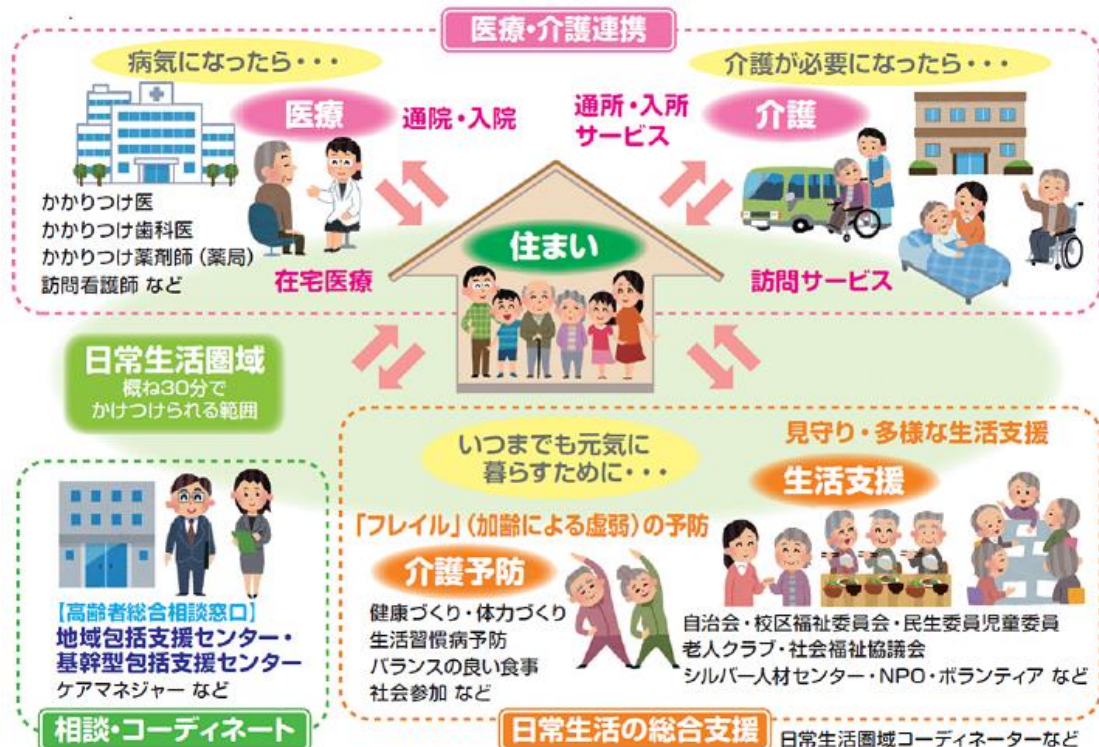
そのため、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的かつ継続的に提供される「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、地域における多種多様な主体の連携と協働のもと、必要な方が適切な支援やサービスを受けられる体制の整備や、自助・互助・共助・公助の考え方に即して、高齢者が主体的に健康増進や介護予防に取り組むことができる環境の整備や地域全体で高齢者を支え合うことができる基盤の整備を進めます。

上位計画や関係する計画の理念等も考え合わせ、高齢者がすこやかに毎日を過ごし、何らかの支援が必要になったときも自分らしさを大切に、住み慣れた地域で支え合い、安心して心豊かに暮らし続けられるよう、次のことを本計画の基本理念として、施策・事業を推進します。

**安心 すこやか 支え合い 暮らし続けられる堺**

## トピックス

【地域包括ケアシステムのイメージ】



## 2 計画目標

本計画は、前項の基本理念に基づき、地域に根差した地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、また、住民や地域の多様な主体が住民個々の暮らしを支え合う「地域共生社会」の実現を推進します。そのため、次の三つの視点を計画の目標に掲げ、「健康寿命の延伸」を KGI（重要目標達成指標）として取組を進めます。

### ● 安心して心豊かに暮らし続けられる

高齢者が個々の状況に応じた暮らし方が続けられるためには、安心な住まいが確保され、さまざまな相談のできる場所があり、要介護状態になっても、在宅医療と介護の緊密な連携のもと在宅生活を支援する多様なサービスや支援を受けることができ、また、認知症になっても社会の中で共に生きていくことができることが重要です。

本市は、必要な方が適切な支援やサービスを受けられることで、安心して心豊かに暮らし続けられる地域社会となることをめざします。

### ● すこやかに暮らし続けられる

高齢者が高齢期を迎えてもできるだけ健康な生活を維持するためには、より多くの高齢者が主体的に日常の健康管理を行い、心身の健康維持や食生活の改善に注力することで生活習慣病やフレイル予防に取り組み、また、要支援・要介護状態になっても健康状態の維持・向上に取り組むことが重要です。

本市は、自助・互助・共助・公助の考え方に即して、高齢者が主体的に健康増進や介護予防に取り組むことで、すこやかに暮らし続けられる地域社会となることをめざします。

### ● 支え合い暮らし続けられる

高齢者が生きがいを持って健康で長生きできるようになるためには、全ての高齢者に社会参加の機会が十分にあり、誰もが「支える側」にも「支えられる側」にもなり、近隣や地域において助け合いが活発に行われていることが重要です。

本市では、地域全体で高齢者を支え合うことができる基盤の整備を進め、支え合い暮らし続けられる地域社会となることをめざします。


### 3 KGI(Key Goal Indicator=重要目標達成指標)

本市は、基本理念である「安心 すこやか 支え合い 暮らし続けられる堺」の実現に向け、健康寿命の延伸をめざします。

令和元（2019）年時点における本市の健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）は男性72.82年、女性74.46年で、男性の健康寿命は全国（男性72.68年）をやや上回りましたが、女性の健康寿命は全国（女性75.38年）を下回っている状況です。

「堺市基本計画2025」においては、「健康寿命」をKGI（重要目標達成指標）に設定しており、令和12年（2030）年の目標値を男性74.00年、女性77.00年としています。

本計画においても「健康寿命」をKGIに設定し、令和8（2026）年の目標値を男性73.54年、女性76.54年とします。

指標		計画策定時の現状値※ (令和元(2019)年)	目標値 (令和8(2026)年)
	健康寿命 (日常生活に制限のない 期間の平均)	男性：72.82年 女性：74.46年	男性：73.54年 女性：76.54年

※出典：厚生労働省（大都市の健康寿命）

『厚生労働行政推進調査事業費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）分担研究報告書』

## 4 施策体系

### 基 本 理 念

安心 すこやか 支え合い 暮らし続けられる堺

### 計画目標・KGI（重要目標達成指標）

#### 【計画目標】

安心で心豊かに  
暮らし続けられる

すこやかに  
暮らし続けられる

支え合い  
暮らし続けられる

#### 【KGI（重要目標達成指標）】

**健康寿命**  
（日常生活に制限のない期間の平均）  
【現状（令和元（2019）年）】  
男性 72.82 年、女性 74.46 年  
【目標（令和 8（2026）年）】  
男性 73.54 年、女性 76.54 年

### 重点施策・施策展開・KPI（重要業績評価指標）

#### 【重点施策】

1 高齢者健康増進施策・  
自立支援の取組の推進

#### 【施策展開】

- (1) 介護予防の充実・推進
- (2) リハビリテーション専門職を活かした取組の推進
- (3) 介護予防・生活支援サービス事業の推進
- (4) 生涯にわたるところと体の健康の増進

#### 【KPI（重要業績評価指標）】

**新規要支援・要介護認定者の平均年齢**  
【現状（令和 3（2021）年度）】 79.8 年  
【目標（令和 8（2026）年度）】 検討中

2 高齢者の社会参加と  
生きがい創出の支援

- (1) 社会参加の機会・情報の提供
- (2) 地域を支える担い手の確保・育成
- (3) 地域の通いの場の創出
- (4) 地域における助け合い活動の推進

**介護予防に資する  
住民主体の通いの場への参加率**

【現状（令和 5（2023）年度）】 調査中  
【目標（令和 8（2026）年度）】 検討中

3 高齢者が安心して  
暮らし続けられる  
都市・住まいの基盤整備

- (1) 高齢者が安心して暮らし続けられる住まいの確保
- (2) 高齢者が暮らしやすい生活環境の整備
- (3) 災害や感染症対策に係る体制整備と支援
- (4) 高齢者等への見守り支援
- (5) 権利擁護支援の充実
- (6) 消費者被害防止や特殊詐欺被害防止のための取組促進

**見守りネットワーク登録事業者数**

【現状（令和 4（2022）年度）】 2,374 件  
【目標（令和 8（2026）年度）】 2,600 件

4 認知症施策の推進

- (1) 認知症の予防と早期発見・早期対応の推進
- (2) 認知症に関する理解の普及や啓発の推進
- (3) 認知症への適切な対応と支援制度の充実
- (4) 認知症の本人・家族等への支援や居場所の提供

**認知症サポーターの人数**

【現状（令和 4（2022）年度）】 86,617 人  
【目標（令和 8（2026）年度）】 103,000 人

5 在宅ケアの充実  
および  
連携体制の整備

- (1) 在宅医療・介護の連携強化
- (2) 地域包括支援センターの運営
- (3) 総合的な相談支援体制の整備
- (4) 在宅生活を支援する多様なサービス基盤の充実
- (5) 家族介護者等への支援の充実
- (6) 市民への情報提供の充実や意識の啓発

**地域包括支援センターの援助件数**

【現状（令和 4（2022）年度）】 162,307 件  
【目標（令和 8（2026）年度）】 170,000 件

6 介護サービス等の  
充実・強化

- (1) 2040 年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
- (2) 介護サービスの質の向上
- (3) ケアマネジメントの質の向上
- (4) 介護人材の確保・育成および業務の効率化
- (5) 費用負担への配慮
- (6) 介護保険制度に関する啓発、情報提供、苦情相談等
- (7) 介護給付適正化事業の推進

**特定処遇改善加算を取得し  
介護人材の安定的な確保に努めている  
事業所の割合**

【現状（令和 5（2023）年 9 月）】 70.85%  
【目標（令和 8（2026）年度）】 75.80%